

安芸地域アクションプランの進捗状況等について
(第3四半期)

安芸地域アクションプランの進捗状況等

H29.2.15
安芸地域本部

1 地域アクションプランの平成28年度（第3四半期）の実施状況（総括）

(1) 総評

全項目（31項目）について、実行支援チームを編成し、各市町村のまち・ひと・しごと創生総合戦略の取り組みと歩調を合わせて、市町村や関係団体、民間事業者等との連携・協働により、それぞれの目標達成に向けて各地域アクションプランの取り組みを推進している。

農業分野では、ユズについて、果実の品質アップに向けた栽培講習、改植事業等の勉強会などを開催するとともに、果汁等の安定供給と販路の開拓などに向けた協議等を行っており、北川村では、村が主体となり、農業経営の安定化と作業効率の向上のためのユズ栽培農地の集約を進めている。

林業分野では、室戸市において土佐備長炭の価格競争力の向上に向けた新たな団体が設立され、市有林の立木の売却についての検討など関係者協議を進めるとともに、新規研修生の受入による後継者の育成に取り組んでいる。

水産分野では、定置網漁業の漁獲物に高鮮度処理を施すことによる付加価値向上や、商談会への参加等による販売促進に取り組み、新規取引先の確保に繋がっている。

また、シラスについては、平成24年度に整備した加工施設の加工処理能力の向上に対応できるよう、漁業者と加工施設との連携強化による、漁業生産体制の構築と販路拡大などに取り組んでいる。

観光分野では、市町村や高知県東部観光協議会が中心となり、3月から開催される志国高知幕末維新博の地域会場である中岡慎太郎館など5施設の磨き上げのほか、教育旅行の受入増加や観光クラスター形成等に向けた広域的な取り組みが進んでいる。

(2) 具体的な動き

項目	取組状況（結果、成果を含む）・課題と今後の対応
<p>■No.1 ユズを中心とした中山間振興（室戸市、安芸市、奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ J A 土佐あき ・ J A 馬路村 	<p>[目標（H31）]</p> <p>（J A 土佐あき）</p> <p>青果出荷受入量(1～12月)： 500 t <H26： 449t></p> <p>加工仕向量(1～12月)： 5,000 t <H26： 4,489t></p> <p>（J A 馬路村）</p> <p>加工品販売額（1～12月）： 36億円 <H26： 32億円></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>（J A 土佐あき）</p> <p>青果出荷受入量(1～12月)： 350t</p> <p>加工仕向量(1～12月)： 4,800t</p> <p>（J A 馬路村）</p> <p>加工品販売額（1～12月）： 32億円</p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新植・改植の推進(青果の生産拡大と品質向上)(J A 土佐あき) <ul style="list-style-type: none"> ・栽培講習、改植事業等の勉強会(23回) ・出荷目慣らし会の開催(4回) ○ユズ果汁等の安定供給と積極的な販路開拓 <ul style="list-style-type: none"> ・加工原料の品質ワンランクアップ(J A 土佐あき) (勉強会等(品質向上に向けた栽培指導等)の開催:22回) (出荷目慣らし会の開催:4回) ・販路拡大に向けた活動(産地交流イベント等)の継続 (J A 土佐あき(ゆず収穫祭:10/16)、J A 馬路村(ゆずはじまる祭:10/30)) ・EU向け青果の輸出(10~11月):4t ・青果出荷受入量(J A 土佐あき)(1~12月):356t (前年比105%) ・加工仕向量(J A 土佐あき)(1~12月):5,995t (前年比120%) ・加工品販売額(J A 馬路村)(1~12月):29億円 (前年比96%) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・果実の品質向上と安定供給、販売強化 ⇒新植・改植の推進などの取り組みを着実に継続 ・加工品の販売強化 ⇒消費者ニーズに対応するための加工品製造施設の整備(J A 馬路村)
<p>■No.2 ポンカンの加工品開発と後継者確保による地域振興(東洋町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポンカン生産者 ・甲浦の果樹仲間 ・東洋町 	<p>[目標(H31)]</p> <p>商品数:4アイテム(累計)<H26:2アイテム> 既存商品の販売数(1~12月):5,000本 <H26:3,584本></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>商品数:3アイテム(累計) 既存商品の販売数(1~12月):4,000本</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪府内の飲食店への営業活動 6月:3店舗 11月:5店舗 ・新商品の開発:1アイテム(甲ちゃんのポンカンジュース) ⇒9月に完売(600本) ・大阪府内のイベントでのPR:2回(10/24、11/5~11/6) ・新商品開発に向けた企業訪問(10/17)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 売上げ向上を目指した商品の磨き上げ ⇒ 来年度の生産販売計画や搾汁方法の見直し ・ 販路拡大及び新商品の開発 ⇒ 商談会やフェアへの参加による販路拡大及び専門家の活用による菓子類等の新商品開発
<p>■No.4 白下糖の生産拡大と新商品の開発(芸西村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 芸西村 ・ 芸西村製糖組合 ・ 生産者グループ 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>サトウキビ収穫量 : 45 t <H26 : 34 t ></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>サトウキビ収穫量 : 35 t</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ H26に収穫量拡大を目的として作成した栽培暦に沿った栽培の進捗状況調査 (11~1月) ・ 栽培歴の検証と消費拡大についての関係者協議 (6回) ・ 後継者候補1名の製糖作業への参加 ・ 移住相談会でのPR (東京、12/4) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 栽培歴の検証 ⇒ 調査結果の分析及び農家への栽培技術の普及 ・ 製糖体験メニューの磨き上げ ⇒ 最少催行人数などについて関係者間での協議・検討 ・ 後継者の育成 ⇒ 生産者の関係者や知人等に対し栽培を勧めるとともに、県外での移住相談会等でもPR
<p>■No.5 土佐備長炭の生産・出荷・販売体制の強化(室戸市、東洋町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 室戸市木炭振興会 ・ 土佐備長炭室戸生産組合 ・ 土佐備長炭生産組合 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>出荷量 : 1,580 t <H26 : 1,076 t ></p> <p>新規就労者数 : 26人 (H28~31累計) <H24~27 11人></p> <p>製炭窯設置 : 21基 (H28~31累計) <H24~26 増設7基></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>出荷量 : 1,260 t</p> <p>新規就労者数 : 6人</p> <p>製炭窯設置 : 5基</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 振興策の検討 ・ 土佐備長炭室戸生産組合の設立 (8月) ・ 研修生の受け入れ : 5人 (室戸市3人、東洋町2人)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> 原木の安定供給 <ul style="list-style-type: none"> ⇒室戸市有林の売却支援 <ul style="list-style-type: none"> 新たに設立された土佐備長炭室戸生産組合を通じた原木の分配を検討 ⇒原木伐採のための作業道開設への支援 ⇒ウバメガシ等の資源量把握のための実態調査の継続 ⇒製炭原木(ウバメガシ)の植栽試験の開始(10月～)
<p>■No.6 林業加工品の販売の促進(馬路村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)エコアス馬路村 ・馬路林材加工協同組合 ・馬路村森林組合 	<p>[目標(H31)]</p> <p>木製品出荷額:277,000千円<H26:251,910千円> 加工部門雇用者数:27人(現状維持)<H26:27人></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>木製品出荷額:258,000千円 加工部門雇用者数:27人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振興策の検討 ・木製品出荷額(11月末):194,993千円 ・29年度の新商品販売に向けた試作品のブラッシュアップ <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木製品の販売促進 <ul style="list-style-type: none"> ⇒消費者ニーズに合った木製品の販売強化
<p>■No.7 芸東地域の水産物の付加価値向上と販路拡大(室戸市、東洋町、奈半利町、田野町、安田町)</p> <p>《事業主体》</p> <p>[定置網漁獲物]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・室戸市定置漁業振興協議会 ・中芸定置網漁業振興協議会 <p>[水産加工]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(有)タカシン水産 	<p>[目標(H31)]</p> <p>高鮮度処理魚の販売額:20,000千円<H26:0円> 簡易加工品の販売額:3,000千円<H26:0円> 加工品販売額(有)タカシン水産室戸工場 :1.5億円<H26:0.8億円></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>高鮮度処理魚の販売額:2,000千円 簡易加工品の販売額:300千円 加工品販売額(有)タカシン水産室戸工場:80,000千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>○高鮮度処理の取り組み(室戸市定置協及び中芸定置協)</p> <p><高鮮度処理魚の増産></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市場内の活魚槽(室戸、中芸)や漁船のエア装置(室戸)を整備 ・定置網漁業者等への技術指導を実施(室戸25回、中芸2回) <p><高鮮度処理魚の販路拡大></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「高知家の魚応援の店」商談会に参加(室戸2回、中芸1回)、産地見学会を開催(室戸1回)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・(室戸) サンプル出荷：10社 (うち成約 4社) ・(中芸) サンプル出荷：4社 (うち成約 0社) ・高鮮度処理魚の販売額 (12月末)：20千円 (室戸 20千円、中芸 0千円) <p>○簡易加工品の製造販売(中芸定置協)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水産加工販売施設「加領郷魚舎」が開所(5/4) ・簡易加工品の製造を加領郷魚舎へ委託、生産体制を構築 ・新たな県版H A C C P (ステージ2) の認証取得に向け講習会に参加(7/20～7/21、11/7) ・加領郷魚舎が「高知家の魚応援の店」制度の県内参画事業者として登録 ・12月より小イカの沖漬けを製造、1月以降奈半利町のふるさと納税返礼品として販売予定 ・簡易加工品の販売額(12月末)：24千円 <p>○タカシン水産による取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな県版H A C C P (ステージ2) の認証取得に向け講習会に参加(7/20～7/21) ・加工品販売額(12月末)：56,135千円(前年同期比97%) <p>[課題と今後の対応]</p> <p>○高鮮度処理の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高鮮度処理技術の定着と販路拡大 ⇒定置網漁業者への指導による高鮮度処理技術の定着及び実施体制の構築 ⇒産地買受人を介した高鮮度処理魚の試験販売等 <p>○簡易加工品の製造販売</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工品の生産拡大 ⇒新商品の開発と販路の開拓、原魚の安定調達 <p>○タカシン水産による取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衛生管理者の育成 ⇒H A C C P 講習会への参加を通じた育成
<p>■No.8 安芸市のシラス漁業者所得の向上(安芸市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安芸漁協 ・(株)安芸水産 	<p>[目標(H31)]</p> <p>水揚げ金額(1～12月)：210,000千円 <H26：201,740千円></p> <p>シラス漁獲量(1～12月)：420 t <H26：393 t ></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>水揚げ金額(1～12月)：220,000千円 シラス漁獲量(1～12月)：400 t</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鮮度維持や先進地視察の実施について(株)安芸水産と協議：7回

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・安芸「ちりめん井楽会」実行委員会：4回 ・第4回全国ご当地じゃこサミットの開催 (10/8～10/9開催 21,000人来場) ・安芸市の「じゃこシティ」ブランド化の取り組みとして、じゃこの日を制定(毎月15日) 学校給食での利用や出前授業を開始(11/15～) ・遊漁・体験漁モニターツアー実施(11/18、12名参加) ・水揚げ金額(1～12月)：114,335千円(前年比53.7%) ・シラス漁獲量(1～12月)：338t(前年比67.3%) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シラスの付加価値向上に向けた取り組み ⇒鮮度保持等の高品質化の検討 ・加工施設の加工処理能力に見合った原魚の確保 ⇒安芸及び周辺地域からの原魚の確保 ・遊漁・体験漁ツアーの造成 ⇒モニターツアーで課題となった不漁荒天時の対応や料金の割高感について、漁業関係者や東部観光協議会等で検討
<p>■No.10 キラメッセ室戸「楽市」を核とした地産地消・外商の拡大(室戸市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・室戸市 ・協同キラメッセ室戸(有) 	<p>[目標(H31)]</p> <p>売上高：370,000千円<H26：308,334千円> 来場者数：260,000人<H26：230,887人></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>売上高：350,000千円 来場者数：250,000人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域おこし協力隊による庭先集荷の実施(中川内地区) ・中山間農業複合経営拠点セミナーへの参加(3回) ・農業複合経営拠点化に向けた協同キラメッセ室戸(有)、市、県の三者協議の開催(2回) ・売上高(12月末)：239,049千円(前年同期比104%) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏場の生鮮品不足 ・農産物出荷者の高齢化に伴う商品量の低下 ⇒運営主体による農業経営の可能性及び持続可能な集荷体制の構築を検討

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 11 海の駅東洋町を拠点とした地域振興(東洋町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東洋町 ・東洋町観光振興協会 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>売上高 : 168,990千円<H26 : 141,938千円></p> <p>来場者数 : 180,000人<H26 : 157,790人></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>売上高 : 162,412千円</p> <p>来場者数 : 180,000人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育旅行の受入(1回) (修学旅行生169人分の昼食(弁当)の提供と土産物の販売) ・ワークショップの開催(2回) ・直販所支援アドバイザーの導入(3回) ・甲浦港であそびな祭に出店(11/20) ・来場者50万人突破記念大感謝祭開催(12/17) ・売上高(12月末) : 130,609千円(前年同期比112%) ・バックヤードの改修(12月末) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体客など多客時の対応 ⇒店舗等が手狭になっていることや地域特産品を活用した加工品の開発を行うため、施設の改修や受入体制などについて関係者間で協議
<p>■No. 12 有害鳥獣を活用した商品開発と販路開拓(東洋町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)熊谷ファーム 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>売上高 : 20,000千円<H26 : 0円></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>売上高 : 13,500千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町単補助金の活用により自社HPを作製中(1月完成予定) ・既存公共施設(廃校跡)を加工場として活用(11月~) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工体制の強化 ⇒新たな加工施設の整備について検討
<p>■No. 13 地域食材を活かした奈半利町の特産品づくりの推進(奈半利町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奈半利町 ・JA土佐あき ・奈半利なんでも市加工グループ 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>J A加工施設(奈半利味噌)の売上高 : 9,120千円 <H26 : 5,140千円></p> <p>農水産加工施設の売上高 : 9,000千円 <H26 : 0千円></p> <p>水産加工施設の売上高 : 12,000千円 <H26 : 3,220千円></p>

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<ul style="list-style-type: none"> ・ 奈半利のおかって加工グループ ・ 加領郷魚舎加工グループ 	<p>[H28到達目標]</p> <p>J A加工施設(奈半利味噌)の売上高 : 7,887千円 農水産加工施設の売上高 : 5,000千円 水産加工施設の売上高 : 5,600千円</p> <p>[取組状況]</p> <p>○ J A加工施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 奈半利味噌の新たな取引先確保(1件) ・ 売上高(12月末): 4,800千円 <p>○ 農水産加工施設(奈半利のおかって)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 営業開始(5/3) ・ 加工グループ、各関係機関やアドバイザーとの協議(52回) ・ 食品表示勉強会の実施 ・ メディア内覧会の実施 ・ 催事への出店 2回 ・ 駅ビアガーデンの実施(8/16) ・ リテール HACCP(消費者に直接商品が渡る施設における HACCP)研修会への参加(12/21) ・ 売上高(11月末): 6,508千円 <p>○ 水産加工施設(加領郷魚舎)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 営業開始(5/4) ・ 加工グループ、各関係機関やアドバイザーとの協議(31回) ・ 相談会及び商談会への参加(8回) ・ 食品表示勉強会の実施 ・ メディア内覧会の実施 ・ 中芸定置網漁業振興協議会から簡易加工品(ニロギのオイル漬け・小イカの沖漬け)の生産を受託 ・ 「高知家の魚応援の店」制度の県内参画事業者として登録 ・ HACCP研修会への参加 ・ 東海岸グルメまつりなどの催事への出店: 11回 ・ 駅ビアガーデンの実施(8/16) ・ 海のランチバイキングの実施(9/22、11/26) ・ 売上高(11月末): 6,710千円 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 加工商品の販路拡大及び販売体制の強化 ⇒積極的な商談会への参加による販路拡大及びアドバイザーによる指導や加工グループとの協議による販売体制の強化

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 14 完全天日塩を活用した産業振興及び観光への活用（田野町）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 田野町 ・ 民間事業者 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>体験受入回数：28回<H25：24回></p> <p>受入人数：計1,423人（体験271人、見学1,152人）</p> <p style="padding-left: 40px;"><H25：計1,186人（体験226人、見学：960人）></p> <p>塩関連での就業者数：10人（累計）<H26：2人></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>体験受入回数：25回</p> <p>受入人数：計1,245人（体験237人、見学1,008人）</p> <p>[取組状況]</p> <p>○産業振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ H28年6月町議会で、塩職人養成に向けた補正予算（製塩ハウス用地取得費及び建設実施設計委託）を措置 ・ 今年度中に用地取得と実施設計を行い、H29年度に製塩ハウス2棟を建設予定（町が所有者等と協議中） ・ 製塩ハウスを民間事業者又は塩職人希望者に賃貸し、民間事業者の指導のもと、塩づくりの修業と塩の増産に活用する方向 <p>○観光への活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域内での周遊促進のため、製塩体験を観光クラスター整備計画における体験メニューの一つとして位置付け ・ 体験受入回数（12月末）：41回（前年同期比46.6%） ・ 受入人数（12月末）：282人（前年同期比49.6%） <p>[課題と今後の対応]</p> <p>○産業振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 完全天日塩の活用計画の策定と実行 ・ 塩職人希望者の育成・環境整備 ⇒受入れ、育成、独立後の環境整備に向けた関係者間での調整 ⇒今年度中に製塩ハウスの用地取得及び実施設計の策定を実施 <p>○観光への活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 集客のためのPR ⇒田野町内での周遊を促進する取り組み（パンフレット製作、案内看板の整備、観光ガイド育成等）による集客力のアップ

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
<p>■No. 15 道の駅「田野駅屋」の機能強化に向けた取組(田野町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 田野町 ・ 道の駅指定管理者 ・ 加工施設指定管理者 ・ 生産者組織 ・ 地域団体 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>年間売上高(1～12月)：400,000千円 <H26：258,729千円></p> <p>年間入込数(1～12月)：265千人<H26：221千人></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>年間売上高(1～12月)：294,047千円 年間入込数(1～12月)：232千人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 町、道の駅指定管理者(田野駅屋連)及び地域本部による情報共有会議の開催(4月～、月1回開催) ⇒看板や冷蔵庫等の設備整備、トイレの洋式化(今年度中の実施を予定)、町広報への生産者募集記事の掲載、他の道の駅との交流販売などの取り組みが進展 ・ 地域内での周遊促進のため、道の駅指定管理者が田野町の観光クラスター協議会に参画 ・ 売上高(1～12月見込)：約318,766千円(前年同期比114%) *H27.10月からふるさと納税業務開始 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後の方向性について町の方針の明確化(機能強化のための施設整備等、小さな拠点化など) ・ 直販・飲食機能の強化(店舗の狭隘、生産者の高齢化に伴う野菜等の商品不足、地産外商への取り組み等) ・ 地元食材を活用した魅力ある加工品の開発・販売の強化 ・ 情報発信機能の強化 ・ 人材育成 ・ 町と道の駅指定管理者間の情報共有体制の強化 ⇒情報共有会議の継続による、関係者間での課題の共有
<p>■No. 16 地場産品直販所「かっぱ市」による地域活性化(芸西村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 芸西村 ・ (有)かっぱ市 ・ 生産者グループ 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>売上高：200,000千円<H26：135,000千円></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>売上高：165,000千円</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新商品試作 ・ 販売計画と新商品の開発に係る進捗管理、集荷システムの導入の検討、集落活動センターとの連携等について関係者協議(5回) ・ 売上高(12月末)：112,509千円(前年同期比100.2%)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花卉類等の出品量の確保 ・新商品の開発 ⇒相談会等への参加・テストマーケティングの実施 ・製糖体験メニューの磨き上げ ⇒最少催行人数などについて関係者間での協議・検討
<p>■No. 17 安芸地域の観光振興の推進（安芸地域全域）</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・（一社）高知県東部観光協議会 ・安芸広域市町村圏事務組合 ・市町村 ・観光協会等 ・地域団体 ・民間事業者 	<p>[目標（H31）]</p> <p>圏内主要施設訪問者数（圏内観光施設、体験プログラム、直販施設及びイベント集客数）（1～12月） ： 2,606,000人<H27：2,401,821人></p> <p>圏内宿泊者数（1～12月） ： 150,000人<H27：138,229人></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>圏内主要施設訪問者数（1～12月）：2,402,000人 圏内宿泊者数（1～12月）：139,000人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東観協が新たなパンフレット（土佐食日記）を配布（4月） ・東観協が広報誘客部会を開催し（3回）、東部地域の幕末維新博パンフレット作成中 ・東観協の事務局次長1名及び企画スタッフ1名配置（5月） ・志国高知幕末維新博関連のアドバイザーの訪問によるアドバイスの実施（10回） ・教育旅行関連のアドバイザーの訪問による研修会の実施（6回） ・土佐の観光創生塾開催（6回・のべ121人参加） ・旅行会社等へのセールス活動（24日） 首都圏、関西などでのセールス活動を実施 ・県外イベント等でのPR（2日） 大阪海遊館での東部地域の観光PR及び物産販売（6月） ・教育旅行の受入れ 中学校1校受入れ（5/25～5/27）及び高等学校2校受入れ（10/24～10/26及び11/8～11/9） 平成30年度に中学校5校の受入れが決定 ・民泊登録世帯（12月末）：106軒 ・東部地域の広域イベント「安芸・室戸パシフィックライド2016」（12/4）開催（参加者314人）

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育旅行における農業や漁業の体験学習時間の設定や天候不順への対応 ⇒H29.5月(4校)の受入れに向けた、課題の共有及び改善策の検討 ・教育旅行における民泊登録世帯の増 ⇒各市町村担当者とともに民泊候補の世帯を訪問し、さらなる掘り起こしを実施 ・志国高知幕末維新博(第一幕・第二幕)に向けた各観光施設の磨き上げや周遊プランの造成、二次交通対策 ⇒観光クラスター形成の取り組みや維新博と連動した企画展、イベント開催による誘客の促進、鉄道と路線バス連携の切符(幕末維新博安芸・室戸フリーきっぷ)の発売など
<p>■No.18 魚梁瀬森林鉄道遺産を活用した交流人口の拡大(奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奈半利町 ・田野町 ・安田町 ・北川村 ・馬路村 ・中芸地区森林鉄道遺産を保存・活用する会 	<p>[目標(H31)]</p> <p>ツアー等による林鉄ガイド実績:1,500人<H26:846人> 拠点施設年間来館者数:1,000人<H26:0人></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>ツアー等による林鉄ガイド実績:1,300人 拠点施設年間来館者数:- (拠点施設未整備)</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧魚梁瀬森林鉄道施設保存活用計画策定協議会総会の開催 ・日本遺産申請に向けた各関係機関との協議を実施 ・中芸広域連合長・副連合長会において、日本遺産申請に向けて中芸5町村で取り組むことに合意 ・中芸地区森林鉄道遺産を保存・活用する会総会出席者に対し林鉄セミナーを実施(1回) ・林鉄ガイド実績(12月末):36回実施(計756名) ・日本遺産申請に向けた推進協議会設立準備会を開催(7/6、7/28) ・「魚梁瀬森林鉄道」日本遺産推進協議会設立総会の開催(8/5) ・同協議会合同部会(ストーリー部会・活性化策部会)の開催(8/15、9/7、1/14) ・同協議会ストーリー部会の開催(10/26) ・同協議会活性化策部会の開催(11/16) ・同協議会運営委員会の開催(8/15、11/15) ・同協議会役員会(中芸広域連合・副連合長会)での経過報告(9/7、10/31、12/5) ・文化庁との協議(8/30、10/3、11/10、12/9)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・「魚梁瀬森林鉄道」日本遺産推進協議会第2回総会を開催し、日本遺産申請書を承認(1/18) ・文化庁に対し日本遺産認定申請(1/24) ・中芸地区以外での普及啓発のため、藁工ミュージアムでの展覧会(林鉄機関車や森林鉄道パネル等の展示やトークイベント等)や中芸地区での関連イベント(林鉄ツアー等)の実施(10/15~12/11) ・日本遺産をテーマとした地域住民向けの中芸5町村連続講演会開催(10~1月) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魚梁瀬森林鉄道遺産の活用と普及啓発活動 ⇒協議会活動状況の情報発信(町村広報誌、SNSの活用)
<p>■No. 19 世界ジオパーク認証を活かした観光の振興(室戸市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・室戸市 ・室戸ジオパーク推進協議会 ・室戸市観光協会 	<p>[目標(H31)]</p> <p>ジオパークガイド利用者数 : 10,000人 <H26: 7,869人></p> <p>室戸世界ジオパークセンター入館者数: 70,000人 <H26: 0人></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>ジオパークガイド利用者数 : 8,000人 室戸世界ジオパークセンター入館者数: 70,000人</p> <p>[取組状況]</p> <p>○室戸ジオパーク推進協議会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジオパークガイド利用者数(12月末): 5,749人 (前年同期比67%) ・ジオパークセンター入館者数(12月末): 64,252人 (前年同期比77%) ・企画展「ジオパークで見る日本の地質 in 室戸ユネスコ世界ジオパーク展」開催(4/23~6/30) ・企画展「室戸ユネスコ世界ジオパーク深海博2016」開催(7/1~8/31) ・企画展「室戸ユネスコ世界ジオパーク室戸神祭展」開催(9/16~10/30) ・室戸世界ジオパーク推進協議会総会(5/18)にて、室戸ジオパーク第3期実行計画(H28~31)を策定 ・ツアー・体験プログラムの実施(9回・のべ134人参加) ・体験プログラムインストラクター養成講座(5回・20人受講) ・ジオツーリズム推進チーム会(7/7)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・室戸世界ジオパークセンターの案内リーフレットをリニューアル (8月) ・第5回写真コンテスト・第1回絵画コンテストの入選作品展示 (11/7~12/18) ○室戸市 <ul style="list-style-type: none"> ・H28年6月市議会で室戸世界ジオパークセンターの展示内容を充実させるための補正予算を措置し、12月から改修工事着工 ・ジオサイトの磨き上げ(御厨人窟の活用検討) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジオツアーに関わる人員の確保 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ジオツーリズム推進チーム会を開催し、ジオツアーの開発や磨き上げ、実施体制について検討 ・ジオパークセンターの機能強化 <ul style="list-style-type: none"> ⇒改修工事による展示内容の見直し(インフォメーションの移設や海底地形の隆起を体感できるブースの設置等) ⇒センターを拠点とする周遊モデルコースの造成
<p>■No. 20 「海の駅とろむ」を核とした交流人口の拡大(室戸市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NPO 法人室戸ドルフィンプロジェクト ・室戸黒潮協同組合 ・(一社) うみ路 ・室戸市 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>室戸ドルフィンセンター来場者数：31,000人 <H26：24,431人></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>室戸ドルフィンセンター来場者数：30,000人</p> <p>[取組状況]</p> <p>○NPO 法人室戸ドルフィンプロジェクト</p> <p>室戸ドルフィンセンター来場者数(12月末)：20,096人 (前年同期比76%)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・室戸ドルフィンセンターでのイベント実施：19回 ・教育旅行の受入(イルカとのふれあい体験)：1回 ・日曜日(高知市)の室戸市ブースへの出店(3回) ・県観光アドバイザーによる体験プログラム研修(9/15) ・冬期限定プログラム「ときめきドルフィン」の実施(11/1~2/28) <p>○室戸黒潮協同組合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育旅行の受入(カツオのたたき作り体験)：1回 ・県観光アドバイザーによる体験プログラム研修(9/15) <p>○(一社) うみ路(合同会社シーベジタブル)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貝類等収穫体験の実施に向けたスジアオノリ養殖施設の整備(11月~)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存体験プログラム(カツオのたたき作り体験やイルカとのふれあい体験)の周知 ⇒事業主体による個々のPRのほか、施設内の事業者で連携した広報を検討
<p>■No. 21 岩崎弥太郎や地域食材等を活用した観光の推進(安芸市)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安芸市 ・安芸市観光協会 ・漁協 ・伊尾木あなごう保存会 ・内原野陶芸館 ・JA土佐あき ・安芸市観光ボランティアガイドの会 ・廓中ふるさと館 ・メリーガーデン ・はたやま夢楽 ・安芸「釜あげちりめん井」楽会 	<p>[目標(H31)]</p> <p>市内年間観光客数 : 300,000人<H26:196,895人> 市内年間宿泊者数 : 25,000人 ちりめん井販売食数 : 45,000食<H26:40,846食></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>市内年間観光客数 : 208,000人 市内年間宿泊者数 : 25,000人 ちりめん井販売食数 : 45,000食</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光クラスター協議会(6/24、7/15、8/29、11/25) 周遊コースの検討、案内板の整備、多言語化について検討 ・観光ボランティアガイドの体制強化 毎月の定例勉強会の開催(5月～) 県観光アドバイザーによるインストラクター研修(9/15、11名参加) 観光ボランティア養成講座(5回、修了者30名) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周遊観光メニューの充実 ・体験プログラムの新たな造成と磨き上げ ⇒シラス漁、果実収穫作業等のモニターツアーを実施 料金設定やカフェメニュー等の見直し
<p>■No. 22 東洋町における体験観光の推進(東洋町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東洋町 ・地元マリンスポーツ関係事業者 ・東洋町観光振興協会 	<p>[目標(H31)]</p> <p>体験者数 : 5,000人<H27:0人></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>体験者数 : 1,000人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐の観光創生塾への参加 : 3回(4人) ・高知家杯東洋町SUP選手権大会の開催(参加選手40名) ・サーファー向けアンケート調査の実施(9月、10月) ・体験プログラム研修(9/16) ・「守口市民まつり前夜祭」(大阪府守口市、11/5)や「こにゃん元気市場」(滋賀県湖南市、11/5～11/6)でのPR ・甲浦港であそびな祭にてイベント実施(甲浦港周辺クルージング、活魚すくいゲーム)(11/20)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域資源を生かした体験プログラムの造成及び周知 ⇒H27年度に作成した東洋町観光アプリ (TOYO ナビ) のPR強化 ⇒「イカダでの釣り体験」など観光客向けの新たな体験プログラムの造成や、教育旅行の受入に向けた「カツオのたたき体験」の実施を検討 ・サーフィン客等の受入施設の整備 ⇒サーフィン客へのアンケート調査の結果を基に、必要な施設整備を検討 (現在アンケート結果の分析中)
<p>■No. 23 藤村製絲を活用した観光振興 (奈半利町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・藤村製絲(株) ・奈半利町 ・なはり観光文化協会 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>来館者数 (1~12月) : 1,500人 <H26 : 0人></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>来館者数 (1~12月) : 800人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なはり浦の会総会 (5月) ・なはり浦の会との協議 (7回) ・集落活動センターなはりの郷に観光部門が設立され (9/26)、県観光拠点補助金の活用により奈半利町観光推進事業を実施 (地域住民とのワークショップ (3回)、観光案内看板、公式ガイドブック、町歩きガイドマップ、展示用観光パネル等) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・藤村製絲記念館の活用拡大 ⇒町歩きガイドブックの活用等による奈半利町内周遊の促進
<p>■No. 24 北川村観光3施設の誘客強化による交流人口の拡大 (北川村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北川村 ・(株)きたがわジャルダン ・北川村観光協会 ・中岡慎太郎先生顕彰会 	<p>[目標 (H31)]</p> <p>各施設入園 (館) 者合計数 : 100,000人 <H26 : 80,983人></p> <p>(モネの庭 : 65,000人) <H26 : 53,174人> (北川村温泉 : 28,000人) <H26 : 21,682人> (中岡慎太郎館 : 7,000人) <H26 : 6,127人></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>各施設入園 (館) 者合計数 : 69,000人 (モネの庭 : 62,000人) (北川村温泉は閉館中) (中岡慎太郎館 : 7,000人)</p> <p>[取組状況]</p> <p>○モネの庭</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入園者数 (12月末) : 56,643人 (前年同期比93%)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・モネの庭職員の接客マナー研修の開催(9回) ・モネの庭のレストラン再建に向けたメニューづくりのため、産振アドバイザーの活用(2回) ・モネの庭のレストラン再建までの代替措置としてプチカフェ「モネの家」を開店(7月～) ・モネの庭キャンドルの夜(9/10) 来場者数: 1,170人 <p>○中岡慎太郎館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入館者数(12月末): 5,221人(前年同期比82%) ・中岡慎太郎先生顕彰会がNPO法人化(6月) ・中岡慎太郎を中心とした地域活性化に向けたイベント企画及びガイド育成について、産振アドバイザーの活用(3回) ・県歴史観光補助金を活用し、中岡慎太郎館の歴史資料の展示リニューアル等に着手(10月～) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月に発生した火災により休業しているモネの庭のレストラン部分の年度内リニューアル ⇒県観光拠点補助金(9月補正)活用により年度内完成予定(工期H29.2月末) ・北川村温泉リニューアル工事の実施(H29年度未完了予定) ⇒県CLT建築促進事業費補助金を活用し、RC構造から木造(CLT構造)への変更設計中(H29年3月村議会にて本体工事の29年度予算措置予定) ・北川村内の周遊の仕組みづくり ⇒中岡慎太郎館を中心とした3施設の連携による観光クラスター形成に着手(県歴史観光補助金を活用し、村内周遊マップ作製やモネの庭のWi-Fi整備等を実施予定)
<p>■No. 27 奈半利ブランドの確立と販路の拡大 (奈半利町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奈半利町 ・集落活動センター運営主体 	<p>[目標(H31)]</p> <p>—</p> <p>[H28到達目標]</p> <p>—</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知県集落活動センター連絡協議会への参画(6月) ・社員総会開催(2回)及び理事会開催(3回) ・なはりの郷活性化協議会の開催(2回) ・農業複合経営拠点運営委員会の設置(5/23) ・農業複合経営拠点運営委員会及びセミナーへの参加(10回) ・なはりの郷農業部門の設置(9/26) ・農業複合経営拠点先進地への視察(2回)

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・「弘瀬家住宅」に事務所機能を設けて本格的な活動を開始 (7/1～) ・集落活動センター活用事業の実施(なはりの町屋切り絵展) (7/25～8/30) ・なはりの郷観光部門の設置(9/26) ・県観光拠点補助金を活用した奈半利町観光推進事業の実施 (地域住民とのワークショップ、観光案内看板、公式ガイドブック、町歩きガイドマップ、展示用観光パネル等の作製) ・奈半利町の各施設を指定管理者として管理 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> 物産館無花果及び海浜センター (指定期間：H28.7/1～H31.6/30) 弘瀬家住宅、奈半利のおかって及び加領郷魚舎 (指定期間：H28.10/1～H31.9/30) </div> <ul style="list-style-type: none"> ・集落活動センターなはりの郷の事業拡大に対応するため、集活センター推進アドバイザーを活用(3回) ・会計の仕組みづくりのため、産振アドバイザーを活用(2回) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集落活動センターなはりの郷の円滑な事業の遂行 ⇒同センターが実施するふるさと納税返礼品に係る事業、直販所運営事業、移住促進事業などについて、アドバイザーの派遣や情報提供などを県関係機関と町が連携して行うことにより、各事業の円滑な推進を支援
<p>■No. 28 安田中山地区の活性化プロジェクト (安田町)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安田町 ・中山を元気にする会 ・安田川漁協 ・自然薯生産組合 ・味工房じねん ・中山合同女性部 	<p>[目標(H31)]</p> <p>交流人口 : 3,600人<H26:3,329人> じねんレジ通過者 : 28,000人<H26:25,711人> 集落活動センター利用者数 : 3,200人 <H26.12月～H27.3月:689人></p> <p>[H28到達目標]</p> <p>交流人口 : 3,400人 じねんレジ通過者 : 26,400人 集落活動センター利用者数 : 2,400人</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知大学との連携(えんむすび隊:自然薯栽培支援及び地域住民とのワークショップ実施、医学部看護学科:地域生活者支援実習) ・集落活動センター推進事業費(経済活動拡充支援事業)補助金を活用した自然薯栽培用資材の導入による栽培規模拡大

項目	取組状況(結果、成果を含む)・課題と今後の対応
	<ul style="list-style-type: none"> ・安田町ふるさと応援隊の追加募集(8/1～募集開始) ・県歴史観光補助金を活用し、拠点施設(せせらぎの郷・小川)の改修(宿泊可能人数の倍増)に着手 ・安芸農業振興センターによる集落営農に向けた勉強会(7/14)、アンケートの実施(10月) ・旧中山小中学校活用検討委員会の開催(11/24) <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済活動を軌道に乗せていくための仕組みづくり ⇒さらなる栽培面積の拡大と販路の確保等 ・旧中山小中学校の活用策の検討 ⇒役場内での素案づくりと住民・関係機関を含めた検討委員会での活用案の策定 ・志国高知幕末維新博との連携 ⇒町内の周遊ルートづくりや特産品販売等の計画づくりへの参画・推進による交流人口の拡大への取り組み ・集落活動センターの円滑な運営の継続 ⇒応援隊の追加導入
<p>■No. 31 集落活動センター「げいせい」を拠点とした“小さくてももっと元気で輝くむら”づくり(芸西村)</p> <p>《事業主体》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芸西村 ・集落活動センター運営主体 	<p>[目標(H31)]</p> <p>—</p> <p>[H28到達目標]</p> <p>—</p> <p>[取組状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係者協議(推進協議会1回開催) ・高知県集落活動センター連絡協議会への参画 ・地域住民との勉強会・部会の開催(5回) ・取り組み事業(サトウキビ栽培と竹害対策)の決定 <p>[課題と今後の対応]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民の幅広い参画、プレイヤーの確保 ⇒集落活動センターを中心としたプレイヤーの掘り起こし (先進事例の勉強会と住民ワークショップの開催) ・村内産品の地産外商、交流人口拡大に向けた具体的な取り組みの検討 ⇒村内産品の加工施設の整備を検討するとともに、住民参画の勉強会を通じて抽出した村の課題ごとに部会を編成し、具体的な解決策を検討

2 平成28年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況（交付決定又は採択事業）

取組	事業概要	総事業費(補助金額)
該当なし		

3 県民参画に向けた取組

- ・産業振興計画シンポジウムの開催（田野町、5/18）
- ・安芸市木曜会6月定例会での第3期計画の説明（5/26）
- ・四国銀行との勉強会における第3期産業振興計画及び地域アクションプランの説明（8/18）
- ・その他、管内事業者等への研修会（HACCP研修、土佐MBA、土佐FBC等）や商談会などの開催の周知

4 相談案件：9件

NO.	相談日	事業種別	相談内容
1	4/1	鮮魚卸	魚の加工をしたいが、どうしたらよいか。
2	4月下旬	雑貨	参加できる見本市等はないか。
3	4月下旬	食品加工	社員研修に係る費用に対する補助制度がないか。
4	5/30	食品加工	商品を保管する冷蔵庫等を導入したい。
5	6/6	食品加工	見本市出展費用に対する補助事業がないか。
6	7/13	食品加工	精肉用真空包装機械を導入したい。
7	8月上旬	雑貨	県外でPRできる場はないか。
8	8月中旬	食品加工	パッケージ改良に使える補助事業はないか。
9	10/12	福祉	介護タクシーの導入・改修に対する補助事業はないか。